

信州大学医学部附属病院に通院中または過去に通院・入院され
輸血が行われた患者様またはご家族の方へ
臨床研究にご協力をお願いいたします。

2021年6月14日

「受身好塩基球活性化試験を用いた輸血副反応の解析」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の
情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5198
研究課題名	受身好塩基球活性化試験を用いた輸血副反応の解析
所属(診療科等)	輸血部
研究責任者(職名)	柳沢 龍(副部長)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2026年5月31日
研究の意義、目的	輸血によって副反応が発生する理由を明らかにすることを目的とした研究で、将来輸血副反応の予防が可能になる可能性があります。
対象となる方	2021年6月14日から2026年4月30日の期間に当院で輸血が行われた方
利用する診療記録／ 検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、治療経過など／血液検査が行われた残り
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、輸血副反応の有無と各種診療記録や追加で行う検査との関係性について調査します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 柳沢 龍 (輸血部・副部長) 電話: 0263-37-3240

**既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、
検体の採取の必要はありません。**

**研究の結果、追加の検体が必要となった場合には別途改めてご協力いただけるか確認
させていただくことがあります。**

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や
学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。